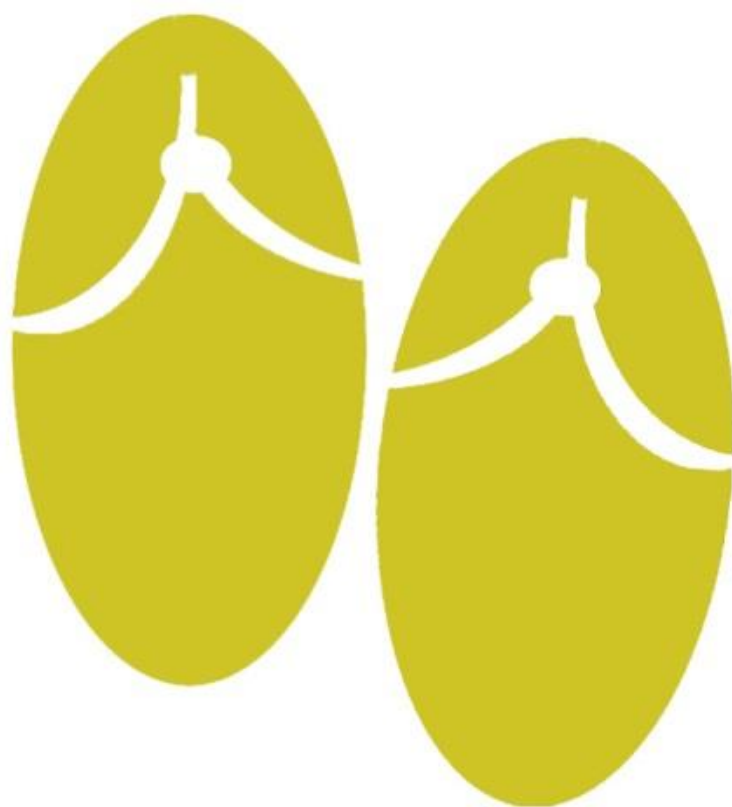


グリーンマップおかざき 10年の足跡



ごあいさつ

【グリーンマップについて】

- I) グリーンマップ
- II) グリーンマップアイコン
- III) 組織

【岡崎の活動の足跡】

- I) 「グリーンマップ in おかざき」誕生
- II) 愛・地球博参加
- III) マップ作成
- IV) 愛・地球博後
- V) 活動風景Ⅰ～まち歩き～
- VI) 活動風景Ⅱ～マップ作り～
- VII) 活動風景Ⅲ～その他～

【付録】

- 付録 1 10年活動記録
- 付録 2 万博プレゼンテーション
授業資料
- 付録 3 賞状
- 付録 4 リーフレット
- 付録 5 募集チラシ
- 付録 6 会則

ごあいさつ

「グリーンマップ in おかざき」は2003年9月に会の呼びかけをスタートし、同12月立上げ説明会を行い、翌年1月24日に第1回目のまち歩きで活動開始となりました。

振り返りますと、「昔からあって、未来に伝えたい、人・モノ・場所・心」「自分の町を好きになろう、自慢を増やそう」をテーマに、大量生産大量消費の社会を見直し、本当の豊かさとは何かを、それぞれ考えて行動するきっかけにする事を目的としています。今ほどに自然環境を見直すことが盛んではなかった時代あっては先駆的な活動であったと思います。

毎月1回岡崎市内を歩き、世界共通のアイコンと気になったものの写真、それをどう感じたかのコメントを白地図にまとめる方法で活動を進める中で、「愛・地球博」に他市のグリーンマップ団体と共に参加。これにあわせて岡崎市からの助成金を頂き、これまでの白地図を業者印刷のマップに作り直し、会場で世界の皆さんに観ていただきました。

万博終了後も設立当初の想いである「自分の町を好きになろう、自慢を増やそう、本当の豊かさとは何か」を大事にしつつ、新たに福祉の要素も盛り込み歩き続け、10周年目を迎えました。

これまでの活動を振り返れば、貴重な経験をさせていただいたのだと思います。そして偶然にも新たな10年のスタートの年に、活動に対する感謝状を県の社会福祉協議会からいただくこととなりました。これまで続けられたことに感謝するとともに、今年から新たな一歩目の足跡を付けていくこととなります。今後もお付き合いいただければと思います。

2014年12月 グリーンマップ代表 小竹央朗

【グリーンマップについて】

I) グリーンマップ

グリーンマップは「地図を作る」という行為を通じて、自分の暮らしているまちの環境にいいもの、環境に悪いものを地域の住民と調査しながら、世界共通の「グローバルアイコン」と呼ばれる絵文字を使って地図に表す環境マップです。

グリーンマップは1992年、ニューヨークのエコデザイナー、ウエンディ・ブラウワー（Wendy E. Brower）によって提唱されました。世界中で60ヶ国800以上の都市が参加し、持続可能な社会を目指す人々の国際的なネットワークはすばらしい広がりを見せています。

日本では1997年の地球温暖化防止会議（COP3）に合わせて制作された「京都グリーンマップ」を皮切りに80以上の地域でマップづくりが行われています。

II) グリーンマップアイコン

視覚言語で、言葉を越えて情報交換することができます。アイコンには大きく分けて「グローバルアイコン」と「ローカルアイコン」の2種類があります。

「グローバルアイコン」

世界中のグリーンマップ参加都市の協力により1996年に初めてデザインされ、1999年にバージョン2。2008年にはバージョン3がリリースされました。これらのアイコンは単なる地図記号ではなく、持続可能な社会の実現に必要と考えられる様々なテーマを総合的に表現していることが評価され、環境サステナビリティ全米賞を始め数々の賞を受賞しています。

「ローカルアイコン」

地域の独特の環境的な知恵や文化を表すために独自のアイコンを作成し提案することができます。愛知では愛・地球博参加に向け、ローカルアイコンを作成した団体が多くみられました。岡崎は歴史が古く気づかない遺産が多くこれらを表すアイコンを作成しました。

	《わらじ》 鎌倉街道など歴史街道や風情のある細道		《たくみ》 その道を極めた人、その技
	《伝統生活》 手汲みの井戸など生活の知恵が含まれる道具		《路傍の仏》 道にひっそりとたたずむ仏

Ⅲ) 組織

全世界に展開するグリーンマップはニューヨークに本部に構え、情報発信、情報管理、事務手続きを行っています。ニューヨークを中心に各国の団体が連携しつつも、それぞれに独立して特徴を活かした活動をしています。

日本では「グリーンマップジャパン」事務局が国内の団体の支援を統括し、愛知県では2002年11月に県下の活動をサポートしていくための組織として「グリーンマップあいち」が立ち上がりました。2005年の「愛・地球博」での発表を目標とする「愛知グリーンマップ2005」プロジェクトを中心に、愛知県全域のグリーンマップを完成させ、そのプロセスをこの地域での持続可能な地域づくりの足がかりにしようと活動しています。

グリーンマップシステム	http://www.greenmap.org/
グリーンマップジャパン	http://greenmapjapan2010.jimdo.com/
グリーンマップあいち(GMA)	http://www.gm-aichi.net/

一部参考引用

グリーンマップジャパンHP・グリーンマップあいちHP

【岡崎の活動の足跡】

I) 「グリーンマップinおかざき」 結成

- 2003年 説明会開催と同時に市民活動団体登録
- 2004年 第一回活動開始
- 2005年 愛・地球博(万博)参加



2003年9月に「グリーンマップを作る会(仮称)」呼びかけ人、倉田晴美氏を中心にスタートしています。発足にあたっての呼びかけ文では、当時大型ショッピングセンターが建設され、都市として発展する一方で、二七市にみえた「人と人が近い距離感での買い物」が残っている地域や、環境の破壊を最小限にした自然との共生。資源の大量生産、大量消費からの脱却、循環型社会を望み、地場産業である八丁味噌、和ろうそく、石細工、花火、太鼓などスポットを当てようとしています。

その思いを念頭にグリーンマップというツールを使い「《歩く・調べる・話し合い》」の中から本当に大切なものは何かを見つけていきたい。この想いで、同12月に立ち上げ説明会をグリーンマップ愛知の萩原氏を招いて開催。呼びかけに応じた10名程を加え、翌年1月24日に「グリーンマップinおかざき」として活動開始しました。その後は1カ月に1度の割合で午前中2時間程のまち歩きと、午後からのマップ作成を続けました。こうした活動は2005年の万博参加という大きな目標(事業)に繋がっていきました。

他の活動として、環境に関心を持ってもらう為の学校の総合学習、市民団体の生涯学習に講師として参加、活動を知ってもらう為に地域イベントへの参加なども行ってきました。社会学習をきっかけにして、上地小学校児童が万博に参加し活動発表を行い、その後も毎年総合学習に呼んでいただくようになりました。

「岡崎のグリーンマップをつくるにあたって」

岡崎の街は、愛知県のほぼ真ん中にあり、岡崎城を中心に菅生川が流れる古くからの城下町のイメージです。そのなかで市の周辺には、田畑、河川、溼地、森などまだまだ自然が残っており、職人気質の伝統産業が息づいています。

岡崎は江戸幕府を開いた徳川家康の生誕の地でもあり、東海道の沿線として栄えていました。ここ数年でこそ大型ショッピングセンターをはじめとした商業地域が南部へ移ってきましたが、少し前までは岡崎城下の康生を中心に、賑わいのある町でした。そのころはもうすこし、人同士の距離が近かったように思います。今でもその名残として、伝馬どおりの二七市などに人と人とのふれあいのある買い物の様子が残っています。

城下町として栄えた江戸時代までは、資源や環境を破壊しないで、自然と調和して共生していたとおもいます。農業を中心とし、食料のみでなく生活に必要なものほとんどが自給自足で循環されていました。国産の材料が使われ、おおくの職人さんたちの手によってものが削りだされ、その時代から続いている伝統的なのがここ岡崎には、ざっと私が聞いただけでも、八丁味噌、和蛸燗、花火、太鼓、石屋、鍛冶屋などがあります。この伝統産業のなかには、持続可能な社会にするために現在の価値観を見直し、今までの良さにも価値を再考していくことのヒントが数多く隠されています。それで、テーマとして、『残っている、残したい自然と地場産業』ということを考えました。

先日、夏至の日に行われた「100万人のキャンドルナイト」のときに、友人におしえてもらった「和蛸燗」のお店で日本の文化のすばらしい一端を垣間見させてもらいました。日本ではお仏壇で用いる事が多いため、すずの出ない、蛸のたれないようにつくられているとのこと、日本人の繊細な美意識が生活のなかにも活かされていることを感じました。天然の実でつくられた「蛸」に植物性の「芯」を使い無害で環境にも人にもやさしいものにふれながら、ひとつひとつおもいをこめて、手間をかけていねいにつくられたものがあるという文化をおもいでした。そしてその蛸燗を竹の器に灯しながら岡崎の棚田に蛍を見に行きました。うまれてはじめてたくさんの蛍の乱舞を楽しみました。自然のなかで自然のいきさを天然の素材で削られたものとともに楽しむというぜいたくをあじわわせてもらいました。

もともとわたしたちは、親の代くらいまでは『もったいない』『足ることを知る』という精神があり、すべてのものを大切に、大量生産で安くして簡単便利使い捨てとは対極の価値観で生きていたように思います。その中で、季節を感じ、祭りなど季節ごとの行事を準備し楽しみ、自分たちが住んでいる地域を愛していたのかもしれないと思いました。

今回、岡崎に残っている、続いている自然や伝統的な産業をマップに記す過程において、私自身も含め、かわかってくれたひとたちが、調べながら、歩きながら、話し合いながら、考えながら、ほんとうに大切なものはなにかを思い出していく手がかかりになったらうれしいとおもいます。ひとはむかしから自然からの恵みをうけ、自然とともに生きてきました。そのことをおもいだしながら、古くて新しいものに出会う喜びのなかで、自然と共生するライフスタイルの価値観の見直しができるとおもいます。それを市民へ子供へと伝えていくことで、持続発展可能な共生社会づくりにつながるとおもいます。そして、マップ作成の過程の中で、環境市民が育つことにもなっていくのではないのでしょうか？また消費者のみでなく、生産者も自分たちの方法を再認識、発見するなかで、ともによいものをつくりあげていくようなことになれば、生産者と消費者の間に目に見える信頼関係もできるところでしょう。

私自身、一番そのことが欠けている部分だとの認識があり、実際に体験しつつ、学びながら周りにもすこしずつ灯を灯してあげていけたらいいとおもいます。

グリーンマップをつくる会(仮称)
呼びかけ人
倉田晴美

Ⅱ) 愛・地球博参加

①経緯

瀬戸会場候補地「海上の森」の自然保護か開発かをめぐる論議などから市民参加の重要性が高まり、市民参加型万博としての初の試みとなりました。県下のグリーンマップはGMAを窓口として、瀬戸愛知県館の市民プロジェクトとして参加しました。



○開催期間 2005年3月25日～9月25日(6ヶ月、185日間)

○テーマ 「自然の叡智」「宇宙、生命と情報」「人生の“わざ”と智慧」「循環型社会」

○会場 長久手、瀬戸

○公式入場数 22,049,544人(全体)

○参加内容

- ・A1×2枚のスペースに活動紹介パネル作成
- ・グリーンマップの魅力について発表、会場案内
- ・各地域の特徴を生かしたグリーンマップイベント(催事)

○岡崎の参加

- ・期間中A1パネル展示
- ・会場案内、魅力発表 5月3日・20日、6月4日
- ・催事 7月29日、9月9日・21日

②参加までの準備

○助成金

- ・マップ制作として岡崎市より活動助成金を頂くための申請・予算書作成
- ・公開プレゼンテーション用のpowerpoint資料作り
- ・毎回活動の報告
- ・決算資料作成

○愛知県グリーンマップ会議参加

県内のグリーンマップ団体を集めた会議。月一回程度開催

○マップ作成

写真選択、下絵の作成、文章の英訳など

○催事の企画

- ・むらさき麦馬づくり
むらさき麦の穂を使い、馬を編む実演をするための講習
- ・powerpoint資料作成
- ・展示品と紹介パネル作成

○まち歩きで見つけた場所の追加取材



③会場風景



メインマップ。その場でアイコンを張っていく。
当時はパソコン内で投稿できるMapSystemがあり会場でも登録もできた。



マップの前では当番になった団体交代ですが、自分が関わって感じた魅力を発表。昔ながらの自転車で登場して紙芝居も上演。



会場には県下団体のそれぞれに工夫と特色を生かしたパネルが展示された。



柱にはグリーンマップにかかわった人が会ごとに記録された。



私たちの企画したイベントは各地の匠の技と自然をスライドで紹介。

展示は着物で作る傘、おこし物の木型、染め物となど実物展示。

実演では「むらさき麦で馬を作ってみよう！」

総合学習で行った上地小学校の児童による研究発表。



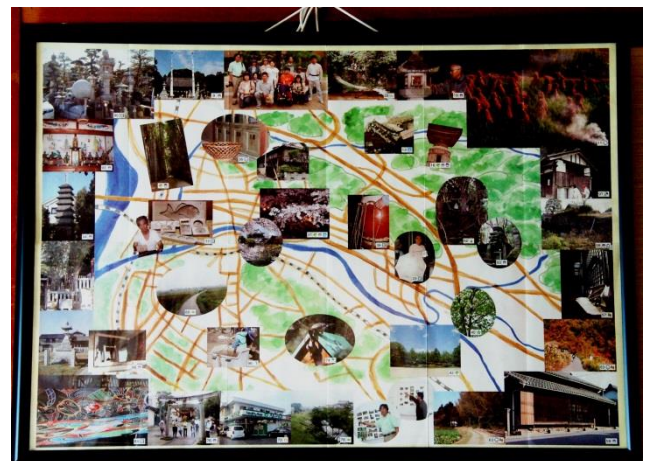
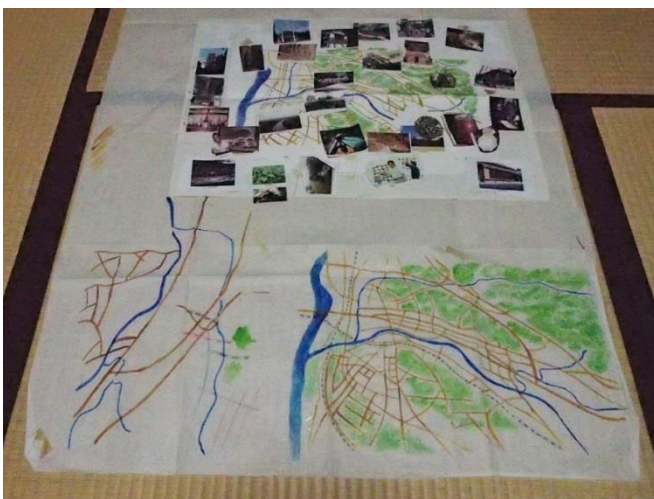
Ⅲ) マップ作成

万博参加を機会に印刷用のマップ作成を始めました。作成には市からの助成金が使われました。獲得のための資料の作成、プレゼンテーション。獲得してからは会計管理、活動内容の報告書作成など助成金の大変さを痛感させられました。

開催に間に合わせるため、作成期間は約1年。その間に市内を全て回る事となりましたが、それでも東西南北を一様にカバーしたものとなりました。

絵と題字は手書き。文章の英訳、資料の作成、写真など、それぞれ得意分野を生かし、何度も構成を重ねた成果品です。

B2判3000部を作成、万博会場や地元にて無料配布。



全くのフリーハンドで書いた地図の上に写真の切り抜きを張ったものが原稿。題字にかなりの修正が入っている。なぜか「か」を赤にすることにこだわりを持っていた。完成時には披露会をおこなった。ほぼ全員参加の貴重な一枚でもある。

IV) 愛・地球博後

- 2005年 岡崎市ボランティア連絡協議会に登録(以後ボラ連)
- 2006年 岡崎市社会福祉協議会に登録(以後社協)
- 2008年 代表交代 「グリーンマップおかざき」に改名
- 2012年 岡崎市社会福祉協議会より感謝状
- 2014年 11年目を迎える
県社会福祉協議会より感謝状



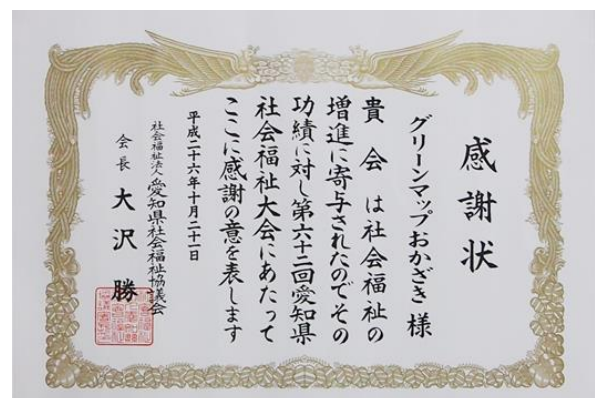
万博終了後暫くはそれまでのペースのまま進みましたが、当面の目的が無くなったことで、メンバーが減少傾向、活動にかける時間も年々減少し始めていきました。

2006年には活動の幅とマップ作成拠点の確保の為に申請をしていた、ボラ連と社協への加入も認められました。これによってマップ制作の拠点が福祉会館に固定、道具一式もロッカーを借りることにより活動がしやすい環境になりました。この2団体に登録をしたことで、毎年行われる「福祉まつり」への参加ができるようになり、活動展示で参加を始めました。

2008年に代表の交代があり、会名も「グリーンマップおかざき」へ変更しました。基本的な会の方向性である自然環境に福祉環境を活動方針に加えた新しい一歩になりました。

この方向性を加えた背景には、活動者の中に障害を持つ方が参加されていたこと、現代表が福祉方面に活動の重点を置いていたことにあります。様々な障がいの立場で『まち』を見た時、ともに暮らしやすい『まち』とはどのようなものかを考える機会、さらに障がいがある方でも、子どもでも、誰もが気軽に参加できる社会参加の場とする思いがあります。

人数の変化、活動時間の変化、参加者それぞれの気持ちの変化、それぞれが10年の流れとともに変わっていますが、当初の思いにある、「昔からあって、未来に伝えたい、人・モノ・場所・心」「自分の『まち』を好きになろう、自慢を増やそう」は変わらず持ち続け今日の活動に至っています。



V) 活動風景Ⅰ～まち歩き～

活動初期は第4土曜日午前9時半～12時を基本に事前に大体のコース設定と、付近の歴史的資料の用意をし、市広報で一般参加者を募る方法で行っていました。また初年度においては積極的に郷土研究の先生を講師に招いたイベントも開催しました。



食事は途中で弁当を買い、マップ作成場所で食べるが多かったですが、歩き先の境内で持ち込みのおでんなどを食べる事もありました。

ゆったりとした活動ながらも、期限のあるマップ作成の為、2時間で広範囲を早足になることが多く、特に講師案内がある会は1日歩き続けることありました。

定例活動の事前にコアミーティングを設け、歩く地域などの設定と下見、万博関連の資料づくりなども行っていました。

近年では第2土曜日午前9時半～12時で活動。マップの作成も休止している為、狭い範囲をじっくりと時間をかける歩き方に変ってきました。2時間かけて近所の散歩程度にしか歩かない日もあります。

「時間配分・目的を作らず」のまち歩きは、じっくり見て、地域の方の話を聞く時間もできる機会が増え、2008年以降取り入れた福祉の視点を入れた取り組みとしても、その日のメンバーに合わせた活動ができています。

10年の時間を経て、岡崎駅・東岡崎周辺の再開発はもとより、寺社の改築や、この間の自然災害への防災意識を感じさせる耐震補強。公園や公共施設のバリアフリー対策など『まち』も様々に変わってきています。一方で松本町のように、戦火を逃れ残っていた建物は守りながら縁日など復活させ、新しくも懐かしいにぎわいを呼び戻す、『まち』づくりをする地域も出てきました。この動きこそが、私たちの目的とする要素が詰まった『まち』づくりの1つの形であると思います。



VI) 活動風景Ⅱ～マップ作り～

まち歩き範囲の公民館などを借り、同日の午後を使って作成しました。A1サイズの白地図と同サイズの白紙を用意し、白地図に歩いたルートと、アイコンを、白紙には写真をその場で印刷し切り貼り、コメント記入。2班になった時は完成した地図を持って発表をし合いました。



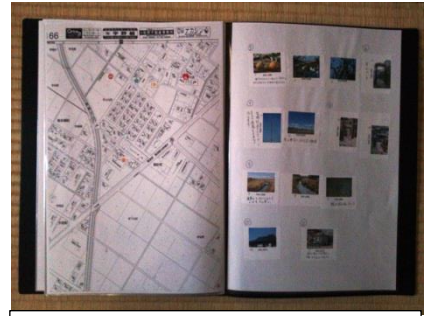
2、3年してくると白地図の置き場所など保管に困ることもあり、その都度形を変えています。現時点での形は、住宅地図をページ毎にA3コピーし、ファイルに整理をしています。糊付けは剥がれやすいこともあり、フリーシールに印刷をして切り張りしています。



A1の白地図は道順とアイコンのみ。同サイズの白紙に写真とコメント



A1の白地図にすべてを載せる形へ。写真サイズは小さくなった



さらに住宅地図へ変更。保管がしやすくなった。

近年では、活動日を1日中充てるのが難しく、また、ゆっくりと歩くことが多くなり、マップを作るほどに1回のデータ量が少なくなったこともあり、本来は主目的になるはずのマップ作成ができていない状況にあります。データとしては整理していますし、HPに公開もしていますので、いつかはマップとしてまとめていけたらと思います。



CDに入った白地図
データに道順、アイコン、写真番号。
写真は印画紙にコンタクトプリント



HPでは写真をスライドにして公開。気まぐれコメントつき

<http://kazenoomokage.jimdo.com/>

Ⅶ) 活動風景Ⅲ～その他～

①イベント参加

活動を広める為、そして自分たちの勉強の為にもなる活動として、福祉まつり、地域交流センターまつり、りぶらまつりなど地域のイベントに参加しています。イベントに使用するものとしては、会紹掲示物(A3横10枚ラミネート加工)、各地域のグリーンマップ、アイコンカード、絵合わせサイコロ、アイコンルービックキューブ、風船、缶バッジなど



②生涯学習

環境や福祉啓発を学校、地域、GMAからの依頼で行っています。時間は依頼先に合わせて行いますか、学校依頼が主で45～60分。歩きも含めると100分ほどになります。万博では上地小学校が成果発表をしました。

使用するものとしては、授業用 powerpoint、会紹掲示物(A3横10枚ラミネート加工)、各地域のグリーンマップ、アイコンカードなど

○環境学習を行った場所

- ・上地小学校(4年生) ・矢作南小学校(4年生)
- ・山中小学校(4年生) ・南中学校(1年生)
- ・豊山町消費生活研究グループ



付録

付録 1 10年活動記録

付録 2 POWERPOINT 資料
万博プレゼンテーション
授業資料

付録 3 リーフレット

付録 4 募集チラシ

付録 5 会則

付録 1 10年活動記録(2003.9-2013.3)

2004(H16) 年度計画			
月日	内容		
9月	準備会		
10月 25日(土)	フリーマーケット		
12月 20日(土)	立上げ説明会	萩原喜之氏講演	
1月 24日(土)	十王・両町まち歩き	第1回活動	
2月 28日(土)	伝馬・六供まち歩き		
3月 27日(土)	奥殿まち歩き	城殿先生ガイド	
4月	16日(金)	フリーマーケット	
	24日(土)	竜美丘まち歩き	
5月 22日(土)	南中学区まち歩き		
6月	2日(金)	上地小学校授業	
	6日(土)	占部川まち歩き	奥田先生ガイド
7月	16日(金)	上地小学校授業	
	24日(土)	27曲がりまち歩き	
8月 28日(土)	滝まち歩き	中根先生ガイド	
9月	11日(土)	生涯学習講師	
	25日(土)	切越まち歩き	城殿先生ガイド
10月	16日(土)	細川まち歩き	奥田先生ガイド
	24日(日)	福祉まつり展示	フリーマーケット
11月 27日(土)	藤川まち歩き		
12月 11日(土)	福岡まち歩き		
1月 22日(土)	矢作まち歩き		
2月 26日(土)	矢作まち歩き		
3月 26日(土)	能見まち歩き		
2005(H17) 年度計画			
月日	内容		
4月	17日(日)	山中周辺まち歩き	奥田先生ガイド
	17日(日)	交流会	
5月	3日(火)	万博手伝い	
	20日(金)	万博手伝い	
	28日(土)	岡崎城周辺まち歩き	
6月	22日(水)	上地小学校総合学習	
	25日(土)	六ッ美地域まち歩き	
7月	8日(金)	上地小学校総合学習	
	29日(金)	万博催事	

9月	9日(金)	万博催事	
	21日(水)	万博催事	
	24日(土)	美合周辺まち歩き	
	25日(日)	福祉まつり・フリーマーケット	
10月	12日(水)	生涯学習講師	
	15日(土)	籠田公園城下町フェスタ	
	16日(日)	籠田公園城下町フェスタ	
	22日(土)	小呂周辺まち歩き	
11月	12日(土)	なごみん文化祭	
	13日(日)	なごみん文化祭	
	26日(土)	桑谷周辺まち歩き	
12月	17日(土)	石神周辺まち歩き	
	17日(土)	交流会	
1月	28日(土)	岩津周辺まち歩き	
2月	1日(水)	山中小学校総合学習	
	10日(金)	生涯学習講師(豊山町)	
3月	25日(土)	稲熊周辺まち歩き	
2006(H18) 年度計画			
	月日	内容	
4月	13日(木)	フリーマーケット	
	22日(土)	岩津周辺まち歩き	
5月	27日(土)	檜山周辺まち歩き	
6月	24日(土)	100セミ	
7月	5日(水)	南中学校総合学習	
	22日(土)	宮崎周辺まち歩き	
8月	26日(土)	千万町周辺まち歩き	
9月	23日(土)	高隆寺周辺まち歩き	
	24日(日)	福祉まつり	
10月	28日(土)	六名周辺まち歩き	
11月	25日(土)	羽栗周辺まち歩き	
12月		活動展示	岡崎郵便局本局
1月	27日(土)	仁木周辺まち歩き	
2月	24日(土)	岩津周辺まち歩き	
3月	24日(土)	奥山田周辺まち歩き	
2007(H19) 年度計画			
	月日	内容	
4月	28日(土)	八ツ木周辺まち歩き	
5月	26日(土)	真福寺周辺まち歩き	

6月	23日(土)	額田大雨河周辺まち歩き	
7月	28日(土)	額田形埜周辺まち歩き	
8月	25日(土)	駒立周辺まち歩き	
9月	23日(土)	福祉まつり	
10月	27日(土)	大門周辺まち歩き	ミクス取材
11月	24日(土)	米河内周辺まち歩き	
12月		活動展示	岡崎信用金庫本店
1月	26日(土)	北野周辺まち歩き	
2月	23日(土)	森越周辺まち歩き	
3月	22日(土)	交流会	
2008(H20) 年度計画			
月日		内容	
4月	5日(土)	宇頭周辺まち歩き	
5月	10日(土)	誓願寺周辺まち歩き	
6月	7日(土)	大友周辺まち歩き	
7月	5日(土)	宇頭周辺まち歩き	
	14日(月)	城南小学校授業総合学習	
8月	2日(土)	蓬生周辺まち歩き	田んぼで遊ぼう
9月	21日(土)	福祉まつり	
10月	17日(金)	上地小学校総合学習	
	25日(土)	渡周辺まち歩き	
12月	6日(土)	筒針周辺まち歩き	
1月	10日(土)	大和町周辺まち歩き	
2月	7日(土)	上佐々木周辺まち歩き	
3月	8日(日)	交流会	
	29日(日)	交流会	
2009(H21) 年度計画			
月日		内容	
4月	4日(土)	赤渋周辺まち歩き	
6月	6日(土)	中之郷周辺まち歩き	
7月	4日(土)	宮地周辺まち歩き	
8月	14日(金)	なごみん横丁	
9月	5日(土)	柱周辺	
	27日(日)	福祉まつり	
10月	3日(土)	柱周辺	
11月	10日(火)	上地小学校総合学習	
12月	5日(土)	土井周辺まち歩き	
1月	9日(土)	下青野周辺まち歩き	

2月	6日(土)	下青野周辺まち歩き	
3月	6日(土)	高橋周辺まち歩き	
	26日(土)	交流会	
2010(H22) 年度計画			
月日		内容	
4月	3日(土)	福桶周辺まち歩き	
5月	1日(土)	国定・中村周辺まち歩き	
6月	5日(土)	中島周辺・悠紀お田植祭	
7月	3日(土)	定国・正名周辺	
9月	11日(土)	小園周辺	
	26日(日)	福祉まつり	
10月	2日(土)	本宿周辺	
11月	6日(土)	舞木周辺	
	11日(木)	上地小学校総合学習	
12月	4日(土)	藤川周辺	
1月	8日(土)	岡町周辺	
3月	5日(土)	小美町周辺	
2011(H23) 年度計画			
月日		内容	
4月	2日(土)	美合周辺まち歩き	
5月	9日(土)	龍泉寺周辺まち歩き	
6月	6日(土)	中島周辺・悠紀お田植祭	
8月	6日(土)	大平周辺まち歩き	
10月	3日(土)	元能見周辺まち歩き	
11月	5日(土)	六供周辺まち歩き	
12月	3日(土)	両町周辺まち歩き	
1月	7日(土)	百々周辺まち歩き	
2月	4日(土)	上里周辺まち歩き	
2012(H24) 年度計画			
月日		内容	
4月	7日(土)	岩津周辺まち歩き	
5月	5日(土)	滝周辺	
6月	2日(土)	八ツ木周辺まち歩き	
9月	1日(土)	羽根周辺まち歩き	
11月	10日(土)	羽根周辺まち歩き	
12月	8日(土)	桑谷周辺まち歩き	
1月	12日(土)	藤川周辺まち歩き	
2月	9日(土)	幸田周辺まち歩き	

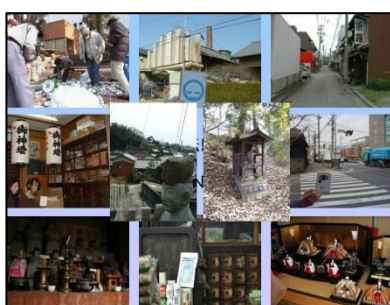
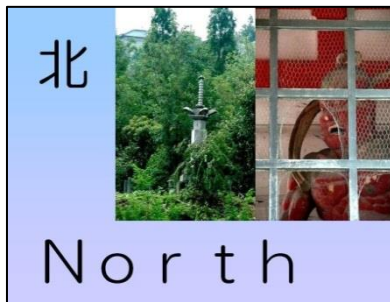
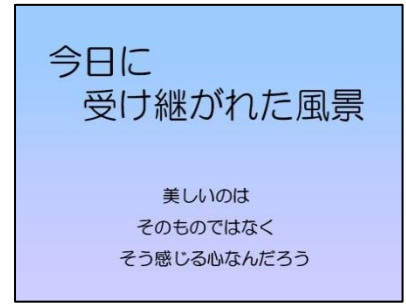
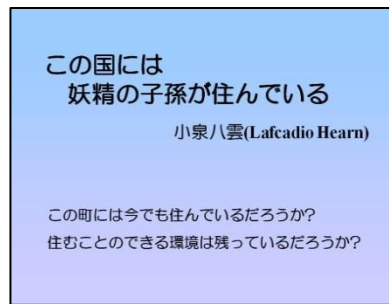
3月	9日(土)	幸田周辺まち歩き	
2013(H25) 年度計画			
月日		内容	
4月	13日(土)	幸田周辺まち歩き	
6月	8日(土)	幸田周辺まち歩き	
10月	12日(土)	東岡崎周辺まち歩き	
	9日(土)	滝周辺まち歩き	
11月	16日(土)	りぶらまつり	
	17日(日)	りぶらまつり	
12月	14日(土)	井田周辺まち歩き	
1月	11日(土)	大樹寺周辺まち歩き	
3月	8日(土)	上地周辺まち歩き	

会議

- ・会内 meeting 2007年まで月一回
- ・万博期間中 月1回会議 名古屋新東通信
- ・岡崎市ボランティア連絡協議会定例会

付録2 POWERPOINT 資料

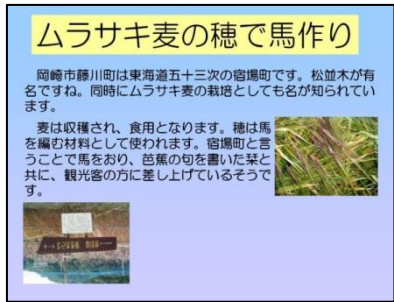
【万博プレゼンテーション】 瀬戸会場での催事に流したもの





今日に 受け継がれる職人技

人の手から生まれるモノ程
美しいモノはない



付録 2【授業配布資料】

GREENMAP

GREENMAPを使って「わがまち」を眺める
グリーンマップおかげさき

グリーンマップとは

自分たちの暮らす地球の環境にいいところ悪いところを調べ、世界共通のアイコン（絵文字）を使って描く環境マップのことです。地球環境のあり方を見直すツールで、同じテーブルの上で和やかに進めていけるので、行政・市民団体・企業などとの協同を促進できる手法です。

グリーンマップの始まり

1992年にブラジル・リオデジャネイロで開催された地球サミットをきっかけにニューヨークの環境デザイナー、ウエンディ・ブラウワーによって提唱されました。

日本でも1997年の地球温暖化防止会議（COP3）に合わせて制作された「京都グリーンマップ」を皮切りにマップづくりが行われています。

2005年の愛・地球博は環境をテーマとし初の市民活動団体参加型の万博となり、グリーンマップ愛知を立ち上げて県内40団体が参加しました。

アイコンとは

絵文字を使うことによって、子どもたちにも親しみやすく、また国と国との言葉の壁を越えての、コミュニケーションが出来るのが、グリーンマップの最大の特徴です。

アイコンには世界共通の「グローバルアイコン」と地域特色を活かした「ローカルアイコン」があります。

グローバルアイコン（一部）

エコショップ	リサイクル施設	公共の森
リサイクルショップ	太陽エネルギー	湿地・溜池
産地直送店	風力エネルギー	車輻輳ができる所
公園・遊園	昆虫観察	特徴ある自然
環境再開発エリア	渡り鳥	名水・湧
レクリエーション広場	水辺の生き物	里山
高齢者にやさしい	干潟	パークライト
子どもにやさしい	赤潮・青潮	自転車専用道路
アートスポット	花がきれい	貸し自転車
環境にやさしい建物	紅葉がきれい	駐輪場
文化施設	雑木林	汚染

Green Map® Icons Version 3

Green Map® Icons Version 3

Green Map® Icons Version 3

ローカルアイコン

世界にはそこしかない、歴史・文化・風習があります。これらは共通のものでは表しにくい特徴を持っているので、その地域ごとにその物をイメージできるアイコンを作る事が出来ます。

岡崎の独自アイコンは、鎌倉街道など径、伝統工芸などを伝える人(匠)、受け継がれた生活スタイルをそのまま残している場所、伝統産業の石を使った仏を表わすアイコンがあります。

匠 匠(人) 受け継がれる生活 仏

各地のマップ①

海の環境

六条湯 周辺グリーンマップ

各地のマップ②

ハイキング

オフィス (Ricoh)

海外のマップ

関連サイト

- GREENMAP SYSTEM <http://www.greenmap.org/>
ニューヨーク本部 事務局
- GREENMAP JAPAN <http://greenmap.jp/>
日本の事務局
- GREENMAP あいち <http://www.gm-aichinet/>
愛知県の事務局

グリーンマップおかげさき

<http://kazenookage.jindo.com/>
E-mail: gm_o_04@yahoo.co.jp

テーマー・・・「昔からあって、未来に伝えたい人・モノ・場所・心」
「自分の“まち”を好きになろう」
「自分の町の自慢を増やそう」

2003年呼びかけ
2004年1月 第1回まち歩き
2005年 愛・地球博参加
マップ制作
2014年 10年を迎える

活動紹介

- ★定例活動・・・毎月第2土曜日に9時から12時
- ★マップ作製・・・まち歩き後(現在休止中)
- ★地域活動・・・地域で行われるイベントに参加
- ★生涯学習・・・市民団体や学校で啓発講座を開催します
- ★万博参加・・・愛・地球博に参加

定例活動のながれ

- 事前準備・まち歩きを始める前に
- 事前準備・会場を決める
- 事前準備・タイムテーブル
- 事前準備・地図について
- 事前準備・アイコンを決める
- 進め方のヒント・歩き
まち歩き風景・見つけたもの
- 進め方のヒント・マップ作成
作成風景

事前準備～まち歩きをする前に

地域、日程、方法を組みましょう。進め方にこれだけではないという形はありません。目的にもよりますが順路を作ってしまうと寄り道ができず思わぬ発見を逃すことがあります。

何も見つからないのも1つの結果ですが、それではなかなか続かないので、大まかな目印程度の目的地を作っておいてもよいでしょう。

最終の時間には戻れる範囲にしましょう。

事前準備～会場を決める

会場は歩く地域に近いところが便利です。地域の市民センターや公民館などが利用できます。登録をすれば使用料が団体割引になることもあります。

マップ制作の方法によっても違います。例えば写真を載せるとして、印刷をいつするか、設備が無ければ、機材を持ち込むか、場所を変えるか、写真だけ後日載せるかなど考えなければなりません。

駐車場の確保も選択の1つです。公共性が高い順に考えて、公共施設・公園・寺社・大型スーパーなどを考えていきます。トラブルが起きないように十分注意しましょう。

事前準備～タイムテーブル

歩く範囲は駐車場がないから集合場所を別にしてそこから移動したい

9時半現地集合 散策開始	12日	9時 現地集合・移動
12時 昼食	9時半 散策開始	12時 昼食(解散)
13時 マップ作成	★花見は残れる人だけ	25日 マップ作成
17時 解散		

サクサクの季節だから美事は公園にしようかな
午後は集合が難しい人が多いから作成は後日しようか

事前準備～地図(歩き用)

地図は歩き用と作作用の2種類の地図を用意します。歩き用は帰り道と、写真撮影位置が記録できる程度の地図で、A4程度以下がよいと思います。歩いた経路を記しておくとな作成の時に便利です。

最近はカメラにGPSがあるので写真の位置記録は必要ないかもしれませんが。

事前準備～地図(作作用地図の考え方)

作作用はその場限りならばどんなものでもできますが、その後どう活用していくか、また、保存をどうするかを考えなければいけません。

- ・サイズを考える・イベント用に?資料として保存?
- ・何を載せるか・・・写真、アイコン、コメント 大きさは?
- ・一時的か保存か・・・保存なら色褪せ、割れなどがないよに材料を考える ノリ?シール?
- ・白地図か住宅地図か・・・どこまでの書き込みがいろいろか?

保存について

白地図(A1 1/2500)に貼っていく

- ・大きいのでイベントには便利
- ・みんなで作業するにはやりやすい
- ・保存に不便
- ・手書き

市販地図、写真・コメント別

- ・ファイル保存
- ・イベントには小さい
- ・作業はページごとに分担できる
- ・破れず保存しやすい
- ・手書き

市販地図DVD、写真・コメント別

- ・ファイル保存pc保存可
- ・写真印刷紙印刷
- ・イベント時拡大印刷可能
- ・作業は個人になる

保存 ↑ 手作り感 ↓

事前準備～アイコン

アイコンは100種類以上あります。もちろん全てのアイコンを用いる事もいいでしょう。テーマを設定し、アイコンをいくつか絞る事もいいでしょう。

進め方のヒント(歩き)

- ・筆記、写真などの役割を簡単に分担
- ・時間を見ながらですが、出来るだけゆっくり歩き
- ・寄り道は時間の許す範囲でとどんする
- ・人数が多い場合2班に分ける
- ・現地の人と積極的に話す
- ・現地で食事をする

まち歩き風景

5、6人くらいでゆっくと歩いていると、知らない発見に驚いたり、感心したり!! それぞれ感じるものが違うところが面白いところです

地元の人の話を聞くのも楽しみの一つです 時にはガイドも頼んだりします

こんなものもつきました

△ララキギ 雨傘の匠

和菓子の木型

矢 弓の作り

和ろうそく 大提灯 和太鼓 昔物で作る傘

こんなところもつきました

鎌倉街道

古くは徳川一帯

建て替えなでいらなくなった古い瓦を捨てずに作った塔瓦の裏には寄付した人の名前が書かれている

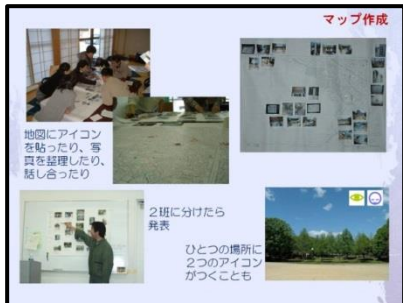
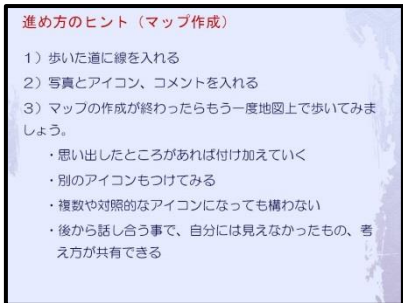
数とり木 火縄銃の痕 八面塔 昔の役所(木造)

こんなところもつきました

古くは徳川一帯

こんなところもつきました

こんなところもつきました



グリーンマップとは

環境の視点から見たその地域の特徴を、世界共通のアイコンを使って表す環境地図のことです。ニューヨークに住むデザイナー、ウエンディ・ブラウアーが、1992年の地球サミットをきっかけに作成したのが始まりとし、世界各国の各地域に広がっています。岡崎は2004年1月に本格的な活動を始め、2005年に開催された、愛地球博に参加しました。

アイコン

世界中誰が見ても、そこがどんな場所であるかわかる絵文字。世界共通をグローバルアイコン、国や地域の独自性を表す為のものを、ローカルアイコンと言い、独自に作成することもできます。

岡崎は、東海道、鎌倉街道の名残も濃く、文化財、匠の技といったものも多くある為「**わらじ**」「**たくみ**」「**野仏**」を作りました。



私たちがみつめていくもの

私たちのテーマは「**伝統と自然と心**」です。テーマにそって市内を歩き、感じたことをそのままマップに盛り込んでいきます。活動を通じ、古くからの守られてきた、あるいは新しく素晴らしい「場所・モノ・匠・こころ」にふれ、「生活の知恵」を再発見し、「私が見つけたこのまちの自慢」を増やしています。

また、障害者の一層の社会参加・高齢者への余暇活動としてのまち歩き、それぞれの視点を活かし、バリアフリーマップ、防災マップへの応用、総合学習への参加などを進め、持続可能で、誰もが活き活きと暮らせる街づくりのヒントをさぐっていきたいと思っています。

まずは、難しく考えず楽しく歩く事からはじめましょう！！

グリーンマップおかざき

代表 小竹(カ) 央朗

http://kazenomokage.jimdo.com/
E-mail:gm_o_04@yahoo.co.jp.

**グリーンマップ
おかざき**



**未来に残したい
場所、モノ、匠、こころ**

活動内容

毎月2回土曜日に、9時半～正午まで、10名ほどが集まり活動しています。



事前にコースや目的を決めず、当日の気分次第に横道にそれることもあります。時には昼食も途中で見つけた店に入ることもあります。又、さまざまな障害を持っておられる方が参加されていますので、それぞれの視点が集まっています。

地図作りはグリーンマップの特徴として観光地図に見られるような、良いとこどりではなく、改善したい場所も載せていきます。アイコンと写真、それにコメントをそえて完成させていきます。



地図作りについては、毎回の活動ではなくできる範囲で制作しています。イベント時などのツールとして役立っています。



岡崎のマップとよく使うアイコン

神社の森には 緑が広がる

名鉄東線の下の緑。この形の樹が私有地であることを示す

同じ場所を複数のアイコンで表しても良い

不法投棄の看板が木に打ちつけられて隠れている

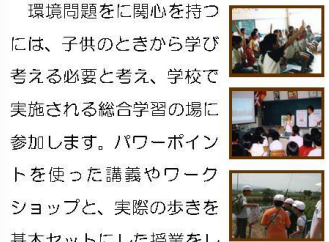
歩いたときに思ったことをコメントとして残す

建物を南から守るような木

- 🍵 街道・古径
- 👨‍🔧 職人・職人技
- 🏠 史跡・文化財
- 🎨 アート街*外・造形
- 👤 やすらぎの場所
- 👤 人に優しい場所
- 👁️ すばらしい風景
- 🌳 銘木・特徴のある木
- 🌸 花の名所
- 🌿 野鳥生息・観察地
- 🗑️ 環境荒廃地

●出前学習

環境問題に関心を持つには、子供のときから学び考える必要と考え、学校で実施される総合学習の場に参加します。パワーポイントを使った講義やワークショップと、実際の歩きを基本セットにした授業をしています。授業では、ともに考える姿勢を大切にしたいと思っています。



依頼があれば学校以外でもお伺いします。

●啓発・広報活動

活動を広く多くの方に知ってもらい参加してもらうために、地域のイベントに活動展示などで参加しています。



前からあって、今もあって、未来

「私にとっての伝統」これが、グリーンマップ。最近の生活様式は、大量生産で安くて簡単使えます。「もったいない」という生活とは対極の問題の解決を困難なものとしています。もう一度自分たちの生活を見直す時がきている文化を大事にしてきた岡崎という街の中には、のヒントがたくさん隠されていること、私達にとっての伝統(人・モノ・場所)というテーマで活の中で、「これは以前からあって、伝統的だが大事にしたい。」と思っている(人・モノ・場所)をマップに載せていきたいと思います。

グリーンマップ in おかざき 実行委員
倉田 晴美・柴田くす子

お問い合わせ先
倉田 晴美 : 090-99-5900
柴田くす子 : 090-99-5900
連絡先 : 090-99-5900

切取線

あなたの大切な人、モノ、場所、教えてください

自分の大切な人、モノ、場所を探して書いて当日ご持参ください。

地元の宝の探しませんか?

グリーンマップ in おかざき

前からあって、今もあって、未来に残したい...
～人、モノ、場所～

グリーンマップとは、環境の視点から見たその地域の特徴を、世界共通の「グリーンマップ」として、環境の視点から見たその地域の特徴を、世界共通の「グリーンマップ」を使って表す地図のことです。現在世界40カ国220以上の地域が参加しています。グリーンマップは、環境にやさしいまちづくりを考えるためのツールとして、推進している世界規模のプロジェクトです。愛知県でも、尾張一宮や知多半島長久手などでグリーンマップ作りがはじまっています。

さあ！あなたも個性あふれた「グリーンマップ in おかざき」をいっしょにつくりませんか？

グリーンマップ in おかざき 説明会

日時 : 12月20日(土) 午後1:30 ~ 4:00
場所 : 岡崎市福祉会館301会議室
講師 : 萩原 富之氏 (グリーンマップのマップメーカー、おかげでグリーンマップが広がっています)
内容 : グリーンマップって何？という方のための、全参加型の説明会です。お気軽にご参加下さい。
参加費 : 無料

グリーンマップ in おかざき

前からあって、今もあって、未来に残したい... ~人、モノ、場所~

体験会のご案内

グリーンマップを知るには、実際に歩いてみるのが一番！ぜひ、参加して下さい！

日時 : 2004年1月24日(土)午前9:30~午後4:00
場所 : 福祉会館303、304号室(集合場所、作業場)及びその周辺地域
参加費用 : 300円(行事保険加入費用、資料代)
持参物 : 筆記用具、昼食、お茶等の飲み物、帽子、雨具

デジタルカメラをお持ちの方は、お手数ですが、説明書、ドライブソフト(CD-ROM等)と合わせて持参して頂きますようお願い致します。その場で撮影した写真をプリントアウトします。

その他 : まち歩きできる服装でお越し下さい。(2時間程度歩きます。)

グリーンマップ in おかざき

史跡と自然を歩く会

【第2回】
一村積山周辺の史跡と自然

開催日 : 10月16日(土曜日)

集合場所、時間(コースによって異なります。下記参照下さい)
Aコース : AM10:00~PM4:00 奥殿陣屋正門前集合
Bコース : AM10:00~PM2:00 奥殿陣屋正門前集合
Cコース : PM 2:00~PM4:00 細川北斗台口バス停
※集合場所へは、公共交通機関でお越し下さい。

行程 : 奥殿陣屋-龍溪院-村積山(昼食)-奥山田町-北斗台をめぐり細川北斗台口 (PM 2:00 Bコース終了/Cコース出発)
細川小前石田古墳-古村積神社-細川城山城跡-蓮性院-松明院-細川バス停(解散)
※集合場所と解散場所が違いますので注意して下さい。

講師 : 地方史研究会幹事 奥田敏春さん
参加費用 : 300円(資料代)

※昼食は各自用意ください。
※雨天決行/天候その他の理由によりコースの変更があります。

岡崎市北部細川町と周辺の史跡と自然環境を訪ねます。細川町には旧石器時代以来の史跡が数多く伝えられています。

開催日 : 6月6日(日曜日)

時間 : 午前10時 J R岡崎駅西口集合
午後3時解散予定

行程 : J R岡崎駅西口集合
豊寺→大夫塚古墳(若土呂八幡宮)→古部川堤

グリーンマップ in おかざき

史跡と自然を歩く会

【第3回】
一東部の街道をめぐる史跡と自然

日時 : 4月17日(日) AM10:00~PM4:00
集合 : 10時に本宿駅改札前
行程 : 法蔵寺・山中八幡宮・山中城など
講師 : 地方史研究会幹事 奥田敏春さん
参加費用 : 300円(資料代)

岡崎市東部の東海道に沿った地域を訪ねます。宿から山綱に至る山中地区は、古くから街道を行き交う人々の市

グリーンマップ in おかざき

今年はおかざきを歩きます。一緒に歩いてみませんか?

「グリーンマップおかざき」はみんなで楽しくまち歩きをしています。

歩く理由はそれぞれ、でも会としてこんなテーマがあります

【自分のまちの自慢を増やそう】
【誰もが安心して暮らせるまちを考えよう】

- あなたにとって素敵な景色・素敵な人・素敵な物を見つけよう!!
- 子供、大人、障がい関係なく、安心して暮らせる町ってどんな町だろう? ・本当の豊かさがってなんだろう?

★毎月第2土曜日9時半~12時までです。
★歩き先で昼食をとることもあります。
★コースはその日の参加者で決めます。目的を決めないで体調に合わせて変更もできますからどなたでも参加できます。
★運動不足の解消にいかがですか?
★ご参加の方には集合場所等の連絡をさせていただきますので1週間前にメールください。
★駐車場は用意しません。園々で確保してください。集合場所まで乗り合わせを希望の場合もご相談ください。

グリーンマップ in おかざき

額田の自然と歴史を歩く会

日時 : 5月27日(土) AM
集合 : 10時 額田支所

今年1月額田が岡崎に合併しました。事やイベントが行われていますが、その歴史を肌で感じることができているでし時間をかけてゆっくりと歩くことで見えない歴史はありますが、これから毎月連続ではありますが、これからしていきます。私たちと一緒に歩きたいませんか?

グリーンマップとは...
それぞれの都市の自然や環境関連のポイントを、地域の人が自ら歩いて探して、世界共通のアイコン(絵文字)を使って作成した環境マップのことです。
グリーンマップは、市民参加、また、まちづくりや環境教育のツールとして露出。エリア別だけでなく、「自転車」「子ども」というようにテーマ別のマップづくりもできます。

グリーンマップ in おかざき

メンバー大募集!!

グリーンマップって?
「グリーンマップ」とは、環境の視点から見たその地域の特徴を、世界共通の「グリーンマップ」として、環境の視点から見たその地域の特徴を、世界共通の「グリーンマップ」を使って表す地図のことです。現在世界各国の各地域が推進している世界規模のプロジェクトです。

未来に残したい人・モノ・場所・心 これらが、グリーンマップです。最近の生活様式は、大量生産で安くて簡単便利に捨てられています。「もったいない」という生活とは対極の価値観が大手を振って、環境問題の解決を迫っています。もう一度自分たちの生活を見直す時がきているように思います。特に私達にとっての伝統(人・モノ・場所)というテーマで活の中で、「これは以前からあって、伝統的だが大事にしたい。」と思っている(人・モノ・場所)を、参加者の思いとともに一緒にマップに載せていきたいと思います。

活動内容

活動日 : 毎月第2土曜日
内容 : 市内を歩いてみて、新たに気が付いた所や、未来に残したい所を写真や情報、アイコンと共に報告していただきます。
会費 : 無料です。(ただし資料代をいただく場合があります。)

問い合わせ : グリーンマップおかざき

グリーンマップ in おかざき

mailgm_o_04@yahoo.co.jp (小竹)
http://kazenoomokage.jimdo.com
fb://www.facebook.com/gmokazaki

付録 5 会則

グリーンマップおかざき 会則

(名称)

第1条 この会は、グリーンマップおかざきと称する。

(事務所)

第2条 この会の事務所は代表宅に置く。

(目的)

第3条 この会は、まち歩きを通して、自然環境、持続可能な社会づくり、福祉環境の向上を
考えることを目的とする。

(活動)

第4条 この会は、前条の目的を達成するために次の活動を実施する。

- (1) まち歩き、マップ制作
- (2) 地域イベント参加
- (3) 市民講座講師
- (4) 他団体との交流・連携
- (5) その他目的達成に必要な活動

(会員)

第5条 この会は、会の目的に賛同した者で構成し、政治・宗教活動は行わない。

- (1) 正会員は、この会の目的に賛同し入会した者とする。
- (2) 賛助会員は、この会の事業を賛助するために入会した者とする。

(入会・退会)

第6条 この会の入退会は、代表に申し出た時点から認められる。

(経費)

第7条 この会の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてる。

- 2 会費徴収は必要に応じて役員会で判断する。
- 3 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(役員)

第8条 この会に次の役員を置く。

- (1) 代表 1名 (2) 副代表 2名以内 (3) 書記 1名 (4) 監査 1名
- 2 役員は、会員の互選により選出する。
- 3 役員の任期は定めない。辞退は本人が代表に申し出た時とする。
- 4 代表退任は副代表に申し出る。
- 5 年度途中で退任がある時、同年度内は補充をしない。

(会議)

第9条 この会の会議は、総会、役員会とし、代表が招集する。

- 2 議案承認は出席の過半数の賛成をもって承認とする。

附 則

この規約施行のため、必要な細則は役員会の議決を得て、代表が定める。

この規約は、2004年 1月 1日より施行する。

この規約は、2009年 4月 1日より一部改定する。